

Ether-weiss V -OPERATION:RAGNAROK-

『Ether-weiss V -OPERATION:RAGNAROK-』（エーデルヴァイス・ヴィ オペレーション・ラグナロク）は、『鷗幻白装エーデルヴァイス』の外伝にあたる黒歴史3Dロボットアクション。原作はかざね氏。

エーデルヴァイス外伝作品プロジェクト「Ether-weiss CROSSWARS」の一つであり、人類同士の戦いとしてはこれまでに最も大きな規模の戦争となった「ヴァルクホルン戦役」の顛末と、「ノアの箱舟」に隠された秘密の一端が描かれる。

-
- ・ あらすじ
-

あらすじ

NX-6強奪の一件からウェルギリウス社に渡った箱舟計画の秘密。彼らは迅速に事を起こした。人類を守る盾として設計されたはずのカロンシステムを利用し、銀河連邦に対して反逆の狼煙を上げたのだ。人類武装戦線の結成である。

こうして開戦した銀河規模の人類同士の争いだが、その経過は一方的なものだった。カロンシステムを信頼しきっていた連邦側は、人類武装戦線の機動兵器と戦う術すら持たぬまま次々と撃破されていく。恐るべき速度で地球へと迫る人類武装戦線の軍勢。このままでは勝ち目が無いと悟った銀河連邦は、ここに最終作戦を立案する。火星宙域、ヴァルクホルンに動かせるだけの全戦力を投入。箱舟計画の新型テロメア・ドライブ、NX-12「ラグナロク」を中心とした決戦部隊を編成し、人類武装戦線の中枢を叩く。「ラグナロク作戦」(OPERATION:RAGNAROK)の幕開けである。

激戦を経て、人類武装戦線の中枢へと辿り着いたNX-12とそのパイロットであるパーズテイル1=プレイヤー。そこで貴方は一つの選択を迫られることとなる。「「ノアの箱舟」を信じてはいけない。彼らは人類を救うどころか、その真逆のことを行おうとしている」「何を言っている？」「本当の脅威はニューロフォビアそのものではない……。さて、一度だけ聞こう。銀河連邦を討つために、その力を貸してほしい」

その時、貴方が下す決断とは……？